

平成22年度当初予算 重点的な取組別概要
 <みえの舞台づくりプログラム>

<くらし3 : 閉鎖性海域の再生プログラム (主担当部 : 環境森林部)>

<プログラムの目標>

伊勢湾をはじめとする閉鎖性海域を豊かで親しめる身近な海として再生するため、県民一人ひとり、大学等研究機関、市町、三県一市（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）、国などが連携・協力して、陸域からの負荷軽減や海域の環境保全、生態系の回復などの取組が進められています。

<構成事業（担当部）>

- (1) 流域別下水道整備総合計画改定（県土整備部）(H20 終了)
- (2) 団体営農業集落排水整備事業（農水商工部）
- (3) 伊勢湾海域浄化槽整備重点促進事業（環境森林部）
- (4) 閉鎖性海域の多様な生態系の回復に向けた調査・技術開発事業（農水商工部）
- (5) 水産業による水質浄化機能の向上技術開発事業（農水商工部）
- (6) 伊勢湾漁場環境浄化型漁業推進事業（農水商工部）
- (7) 閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業（農水商工部）
- (8) 伊勢湾行動計画推進事業（環境森林部）
- (9) 「みえのうみ」環境保全活動促進事業（農水商工部）

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額 ※1	2,115,298	2,154,000	2,152,000	2,194,000
予算額等 ※2	1,441,970	1,208,856	1,980,463 (339,449)	(1,623,450) 1,464,450

※1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

※2 H19, 20 年度は決算額、H21 年度は予算現額、H22 年度は当初予算額。21 年度の下段括弧書きは 20 年度からの繰越額で予算現額の内数。H22 年度の上段括弧書きは H21 年度 2 月補正分と H22 年度当初分の合算額。

<構成事業の目標> 21 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) 関連流域別下水道整備総合計画改定済水域数 (累計)	目標値	—	3	3	—	—
	実績値	0	3	3	—	—
(2) 農業集落排水整備率 (累計)	目標値	—	65.0%	66.0%	66.0%	70.0%
	実績値	61.0%	65.0%	66.0%	66.0%	
(3) 伊勢湾流域における浄化槽整備基数	目標値	—	3,500 基	3,600 基	3,600 基	3,600 基
	実績値	3,438 基	3,089 基	3,069 基	3,022 基	
(4) 技術開発および解明課題数	目標値	—	7 課題	5 課題	6 課題	10 課題
	実績値	2 課題	7 課題	5 課題		

(5) 移転可能な開発技術件数（累計）	目標値	—	0件	0件	0件	4件
	実績値	—	0件	0件		
(6) 伊勢湾漁業研究実践活動グループ数（累計）	目標値	—	3グループ	6グループ	9グループ	12グループ
	実績値	0グループ	2グループ	6グループ	9グループ	
(7) 閉鎖性海域での浅海域再生面積（累計）	目標値	—	22.3ha	31.3ha	39.4ha	51.0ha
	実績値	14.6ha	20.2ha	27.7ha		
(8) 伊勢湾再生連携市町数（累計）	目標値	—	6市町	13市町	17市町	21市町
	実績値	—	4市町	11市町	17市町	
(9) 海洋の環境保全活動組織数（累計）	目標値	—	5組織	6組織	7組織	8組織
	実績値	4組織	5組織	6組織	8組織	

<進捗状況（現状と課題）>

- ・ 伊勢湾におけるCODの環境基準達成率は、近年40%から60%で推移する状況が続いており、県では陸域からの汚濁負荷を一層削減するため、「三重県生活排水処理施設整備計画（生活排水処理アクションプログラム）」に基づいて、下水道、集落排水施設、浄化槽等の計画的な整備を進めています。平成20年度末（2008年度末）における生活排水処理施設整備率は74.9%であり、今後も中間目標（2010年度末76.5%）の達成に向けた整備推進が課題となっています。
- ・ 伊勢湾の再生に向けては、「伊勢湾再生行動計画」をもとに、NPO、有識者、市町等からなる「伊勢湾再生推進検討会」により、多様な主体と連携した取組を進めているほか、三重大学と連携した伊勢湾沿岸域の底質調査等を実施しています。
- ・ 閉鎖性海域の生態系の保護に向けた生物生息環境の改善を進めており、英真湾で産学官連携により取り組んだ自然浄化機能の増進・活用技術の開発成果をもとに、伊勢湾への応用展開を行っています。
- ・ 漂流・漂着ゴミ対策は、伊勢湾流域圏の広域的な取組として、愛知県、岐阜県等と連携して「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を実施しており、平成21年度は三重県において25団体、約17,500人の参加を得ました。
- ・ 国の「漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査（第二期）」に引き続き参画するとともに、緊急雇用創出事業を活用して伊勢湾全域の海岸及び流入河川における実態調査を実施しています。

<平成22年度の取組方向>

- ① 陸域からの汚濁負荷の削減を推進するため、引き続き「生活排水処理アクションプログラム」に基づき、下水道、集落排水施設、浄化槽等の生活排水処理施設の効率的・効果的な整備を進め、伊勢湾の水質改善をはかります。
- ② 伊勢湾の浅海域における干潟・藻場の造成等に取り組むほか、漁業者、漁業団体及び三重大学等と連携・協力し、沿岸生態系の保護造成、二枚貝やノリによる水質浄化機能を高めるための研究を行います。
- ③ 伊勢湾沿岸域の底質調査結果については、汚濁負荷の内部生産や貧酸素水塊の発生メカニズムの解明等に活用できるよう、三重大学等と情報共有を行います。
- ④ 漂流・漂着ゴミ対策としては、広域的なクリーンアップに取り組むとともに、引き続き伊勢湾

全域の海岸及び流入河川における詳細な実態調査を行います。また、市民団体や関係機関による協議会を設立して、海岸漂着物処理推進法に基づく地域計画、海岸漂着ゴミの回収・処理及び発生源対策等の検討を行うなど、伊勢湾の再生に向けて「伊勢湾再生行動計画」の推進に向けた取組を進めます。

<他の主体の参画内容>

- ・ 県民、市民グループ等は、身近な海を大切にしていくため、生活排水対策の推進や「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」への参画など、多様な主体が連携した取組に協力します。
- ・ 漁業者、漁業関係者は、水産業の継続、適切な資源管理及び調査研究に協力して取り組むとともに成果の活用をはかります。
- ・ 大学等研究機関は、県等と連携して干潟・藻場、貧酸素水塊等に関する調査や研究に取り組みます。
- ・ 市町は、県とともに、地域住民、市民グループ、漁業者及び企業等が行う海域の環境保全等に関する自主的な活動を支援します。

<主な事業>

- ① 団体営農業集落排水整備促進事業【基本事業名：53201 魅力が発揮できるむらづくり】
(第6款 農林水産業費 第3項 農地費 8農村振興費) (事業(2))
予算額：(21) 420,072千円 → (22) 215,762千円
(420,072千円 → 374,762千円 ※2月補正含みベース)
事業概要：「三重県生活排水処理施設整備計画」に基づき、市町と連携して計画的な集落排水事業を推進するとともに、農山漁村地域の生活環境の改善と水質の改善をはかります。
- ② 伊勢湾海域浄化槽整備重点促進事業【基本事業名：41303 伊勢湾の再生】(事業(3))
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費)
予算額：(21) 393,199千円 → (22) 383,090千円
事業概要：浄化槽と集合処理施設との連携の見直しなど、効率的・効果的な整備手法の調査検討を行うとともに、市町が浄化槽の設置者に支援する事業及び市町が浄化槽を整備する事業に対して支援を行い、浄化槽の普及を促進します。
- ③ 閉鎖性海域の多様な生態系の回復に向けた調査・技術開発事業
【基本事業名：41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進】(事業(4))
(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 10水産業試験研究費)
予算額：(21) 15,203千円 → (22) 13,637千円
事業概要：閉鎖性海域における生態系の回復を促進するため、干潟・藻場の回復再生技術や赤潮の発生防止技術の開発および底泥の堆積過程の解明等について、産学官の連携により取り組みます。
(調査海域：英虞湾 調査内容：①沿岸遊休地の干潟への再生技術の開発、②殺藻ウィルスによる赤潮防除技術実用化の可能性検討、③陸からの流入物質と植物プランクトンの増減、底泥の体積過程との関連解析など)

- ④ 水産業による水質浄化機能の向上技術開発事業
【基本事業名：22704 水産業を支える技術開発の推進】（事業(5)）
（第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 10 水産業試験研究費）
予算額：(21) 4, 324 千円 → (22) 3, 866 千円
事業概要：ノリの品種改良や養殖不能ノリ網の再生技術およびアサリ・ヤマトシジミ・ハマグリ等の二枚貝類のへい死防止技術の開発に取り組み、二枚貝・ノリの漁獲を通じて閉鎖性海域に流入あるいは堆積した栄養塩類の除去に貢献します。
（調査海域：伊勢湾・英虞湾 調査内容：①ノリ網再生技術の開発、②貧酸素水塊が二枚貝に与える影響調査、③海域環境とアコヤガイ養殖管理技術の関連解析）
- ⑤ 伊勢湾漁場環境浄化型漁業推進事業【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】
（第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 5 資源管理費）（事業(6)）
予算額：(21) 3, 021 千円 → (22) 2, 398 千円
事業概要：有機物浄化機能を有するアサリ資源の回復をはかるため、資源動態の解析や稚貝の放流効果調査等を行い、漁業者自らによる資源管理を促進するとともに、水質浄化機能を有するのり養殖業が持続的に行われるよう、環境情報の提供や技術的指導等を行います。また、近年のノリの色落ち被害等の対策に取り組む漁業者の研究活動等を支援します。（研究実践活動への支援：3グループ予定等）
- ⑥ 閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業【基本事業名：22603 水産生産基盤の整備】
（第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 6 水産基盤整備費）（事業(7)）
予算額：(21) 666, 086 千円 → (22) 662, 498 千円
事業概要：閉鎖性海域（伊勢湾、英虞湾）において悪化する生産力・水質浄化能力の回復や富栄養化した底質の改善をはかるため干潟・藻場の造成や底泥の浚渫を行います。
- ⑦ 伊勢湾行動計画推進事業【基本事業名：41303 伊勢湾の再生】（事業(8)）
（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費）
予算額：(21) 2, 783 千円 → (22) 108, 167 千円
事業概要：国と三県一市等で組織する「伊勢湾再生推進会議」において策定した「伊勢湾再生行動計画」に基づき、大学等の研究機関など多様な主体との連携による調査・研究や普及啓発等に取り組むとともに、グリーンニューディール基金を活用し、海岸漂着物対策を推進します。
- ⑧ 「みえのうみ」環境保全活動促進事業【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】
（第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 5 資源管理費）（事業(9)）
予算額：(21) 5, 511 千円 → (22) 5, 321 千円
事業概要：「里海」伊勢湾を再生し、豊かな海の恵みを取り戻すために、流域や海域の環境情報の収集・発信、地域で活動の核として行動できる人材の育成、多様な主体が参加する流域ネットワークづくりなどを行い、県民が主体となった海の環境保全に向けた取組を促進します。（リーダー養成講座：5回開催予定等）